

高校選抜ハンド

ハンドボールの第53回九州高校選抜大会兼第48回全国高校選抜大会九州地区予選大会最終日は10日、鹿児島県霧島市の横川体育館ほかで行われ、男子決勝で興南は熊本マリスト

を31-30の逆転勝ちで破って3連覇を達成。全国大会(3月、大分県)の出場権を獲得した。女子の代表決定戦に臨んだ那覇西は26-31で千原台(熊本)に敗れ、全国大会出場権を逃した。9日の準決勝で敗れ3位となった浦添は出場権を獲得した。興南は前半、攻撃のミスから無得

点の時間が続く苦しい展開となったが、守備を立て直すと速攻などで得点し、15-17で折り返した。後半も前半の勢いを生かして得点を重ねた。U19日本代表の赤嶺尚太郎は12得点でチームをけん引した。流れの悪い時間帯はGK岡本守史の堅守もあって逃げ切った。

【男子】

▽決勝
興南 31 (15-17) 30 熊本マリスト

【女子】

▽代表決定戦
千原台 31-26 那覇西(熊本)

興南、逆転で九州3連覇 赤嶺 左腕うならせ12得点

ハイライト

U19日本代表の赤嶺尚太郎が12得点で興南を優勝に導いた。以前は前のめりになって周囲が見えていなかったというが、今大会で覚せいした。192センチの長身を生かした約3メートルの高い打点からロングシ

ュートを連発。警戒した相手が前に出ると味方選手の得点をアシストした。「自分が(決勝点となる)31点目を決めて勝利し、チームは3連覇を達成。めっちゃうれしい」と声を弾ませた。

チームは序盤に苦しんだ。攻撃のミスから無得点が続く間に4、5点差をつけられた。「みんな焦

っていたので自分が落ち着かせた」と司令塔の山下双葉。全員が守備での速い戻りや相手への強い当たりを意識し、15-17の2点差で前半を折り返した。

赤嶺は後半も、GKの動きを見ては左腕を振り切って強烈なシュートで得点。大会1週間前に「チームプレーなので周囲を見ようと

考えた。意識することで、さらに周りが見えるようになった」と語る。終盤、1点差まで詰め寄せられたが振り切って勝利した。

「丁寧に周りを見ながら自分のプレーをしたい。シュートの成功率を80%に上げたい」と赤嶺。全国選抜でもチームをけん引する。(又吉健次)



九州大会3連覇を果たした男子興南＝鹿児島県霧島市横川体育館(提供)